

(令和3年度一般選抜 [前期日程用])

# 入構許可申請書

令和 3年 月 日

岩手大学長 殿

(申請者)  
学生証番号 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科・課程 \_\_\_\_\_ 年次

\_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ 年次

氏名 \_\_\_\_\_

下記の理由により、一般選抜 [前期日程] に係る入構規制日に入構したいので、許可願います。

## 記

入館日時及び場所 (例: 2月 日 時~ 時 学部 号館 研究室)

..... 2月 日 ( ) 時~ 時 .....

理由 (詳細に記入してください。)

.....  
.....  
.....

上記の者について、入学試験に影響を与えないよう指導しますので、入構等を許可願います。

指導教員等 \_\_\_\_\_ 印

コース長・専攻長・プログラム長、入試委員 \_\_\_\_\_ 印

## 入構規制

(1) 2月25日(木)(教育学部は建物により2月24日(水)13時~2月26日(金)まで、理工学部は2月24日(水)17時~2月25日(木)まで)は、**原則として入構を禁止**します。

(2) 特別な理由により入構等しなければならない者は、「入構許可申請書」に入構等理由等を記入し、**2月17日(水)17時までに**、裏面記載のとおり、所属先の許可を得たうえで、各担当窓口へ申請し、リボンを受け取ってください。

なお、入構等中は必ずリボンを着用してください。

コース長・専攻長・プログラム長(理工学部・理工学研究科・総合科学研究科の一部)と、入試委員(農学部)は裏面に掲載しています。

申請受付期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しません。

リボンの再交付はしません。

リボンは、3月2日(水)までに学生センターA棟窓口へ必ず返却すること。

リボンの返却

年 月 日

## <学部>

- ・人文社会科学部 指導教員等の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請
- ・教育学部 原則として入構禁止
- ・理工学部 指導教員等及びコース長の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請
- ・農学部 指導教員等及び入試委員の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請

## <大学院総合科学研究科>

- ・総合文化学専攻 指導教員等の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請
- ・地域創生専攻 指導教員等の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請  
(ただし、金型・鋳造プログラムと社会基盤・環境工学プログラムは指導教員等とプログラム長の署名・押印)
- ・理工学専攻 指導教員及びコース長の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請
- ・農学専攻 指導教員等の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請

## <大学院理工学研究科>

指導教員等及び専攻長の署名・押印 学生センターA棟 窓口に申請

## 理工学部 コース長

化学・生命理工学科(化学コース)	横田 政晶
〃 (生命コース)	小栗栖太郎
物理・材料理工学科(数理・物理コース)	花見 仁史
〃 (マテリアルコース)	平塚 真人
システム創成工学科(電気電子通信コース)	本間 尚樹
〃 (知能・メディア情報コース)	萩原 義裕
〃 (機械科学コース)	西村 文仁
〃 (社会基盤・環境コース)	伊藤 歩

## 理工学研究科 専攻長

自然・応用科学専攻	小栗栖太郎
システム創成工学専攻	船崎 健一
デザイン・メディア工学専攻	田中 隆充

## 総合科学研究科 プログラム長・コース長

(地域創生専攻)	
金型・鋳造プログラム長	西村 文仁
社会基盤・環境工学プログラム長	小笠原敏記
(理工学専攻)	
物質化学コース	横田 政晶
生命科学コース	小栗栖太郎
数理・物理コース	尾臺 喜孝
材料科学コース	小林 悟
電気電子通信コース	本間 尚樹
機械・航空宇宙コース	船崎 健一
知能情報コース	萩原 義裕
デザイン・メディア工学コース	田中 隆充

## 農学部 入試委員

植物生命科学科	小森 貞男
応用生物化学科	山田 美和
森林科学科	小藤田久義
食料生産環境学科	〔農村地域デザイン学コース〕 折笠 貴寛
	〔食産業システム学コース〕
〃 (水産システム学コース)	袁 春紅
動物科学科	澤井 健
共同獣医学科	高橋 透 中牟田信明